

令和4年度 第12回浦川原区地域協議会 次第

と き 令和5年3月25日(土) 15時45分から

ところ 浦川原コミュニティプラザ 市民活動室4・5

1 開 会 (:)

- 会議の成立確認(成立出席委員数6人) 出席委員数__人 欠席委員数__人
- 会議録の内容確認者の指名 確認委員の氏名 池田幸博 副会長

2 報 告

(1) 会長報告

(2) 委員報告

- ・中学生との意見交換会(「浦川原いいところ探し」まとめ発表会)について

(3) 市からの報告

- ・令和5年度浦川原区の主な事業と予算について(当日配付)
- ・3区中学校統合の進捗状況について

3 協 議

- (1) 令和4年度の活動実績・振り返りと令和5年度の活動計画の検討について(資料1)
- (2) 自主的審議事項の検討について

4 その他

- ・浦川原区地域協議会だより第55号の発行について(当日配付)

5 次回の会議日程

- ・令和5年度第1回地域協議会

日時：令和5年 月 日 () 時 分から

会場：_____

6 閉 会 (:)

令和5年度 浦川原区の主な事業と予算

(予算額は万円未満切り捨て)

事業項目	予算額	内 容
浦川原区地域振興事業	190 万円	浦川原区の地域振興と活性化を図るため、各種イベントに補助金を交付する。 (うらがわらまつり、柴又児童交流、柴又地域交流、月影芸能まつり) ※「月影の郷」を拠点とした地域づくりへの支援強化に向けた取組を引き続き進める。
市民の文化活動推進事業	69 万円	日本古来の和太鼓の伝統文化と和の心を発信し、浦川原区を「人と地域が元気なまち」にするため、「浦川原和太鼓祭」を開催する。 【地域独自の予算事業】 ・第14回浦川原和太鼓祭開催事業補助金
浦川原コミュニティプラザ管理運営費	2,963 万円	地域における多様な市民活動の場を提供するため浦川原コミュニティプラザを運営するほか、施設の維持管理を行う。 ・コミュニティプラザ、車庫棟の維持管理 ・総合事務所の維持管理
浦川原コミュニティプラザ整備事業	267 万円	浦川原コミュニティプラザの修繕計画に基づく必要な修繕工事等の実施。 【新規】 ・個別エアコン設置修繕(302会議室、ふれあいルーム、女子休憩室等) ・非常用予備発電装置に係る消費電力実測業務委託
町内会関係費集会場整備費補助事業	236 万円	町内会集会場の整備促進を図るため、修繕や環境改善に要する費用に対して補助金を交付する。 ・集会場修繕の補助：日向町内会(屋根修繕)、長走町内会(エアコン設置)、上柿野町内会(屋根、外壁修繕)
鉄道駅舎等管理運営費	536 万円	ほくほく線利用者の利便性を確保するため、施設の維持管理を行う。 ・うらがわら駅、虫川大杉駅の駅舎及び駐車場の維持管理 【新規】 ・うらがわら駅待合所照明設備修繕 ・うらがわら駅トイレ手洗器自動水栓化修繕・センサー照明修繕 ・うらがわら駅、虫川大杉駅除排雪業務委託
消防施設整備事業	52 万円	消防部の再編により使わなくなった消防器具置場を撤去する。 【新規】 ・消防器具置場解体撤去工事(法定寺地内)
消防施設管理費	12 万円	消防器具置場の適切な維持管理を行う。 【新規】 ・虫川消防部ホース乾燥塔修繕(虫川地内)

事業項目	予算額	内 容
宿泊体験交流施設「月影の郷」管理運営費	523 万円	農山村の資源や文化を観光資源とする「えちご田舎体験」等の受入施設として、管理運営を行う。 ・ 指定管理委託 月影の郷運営委員会 【新規】 ・ 体育館軒先・軒天井修繕
浦川原区観光施設等整備事業	114 万円	浦川原霧ヶ岳温泉ゆあみ広場及びトイレの適切な管理を行うとともに、国道253号沿線のゆあみ誘導看板を撤去する。 ・ 広場、トイレ管理業務委託 【新規】 ・ ゆあみ誘導看板撤去工事(下猪子田地内)※この他にも、塗り潰し等の対応を行う。
浦川原観光振興対策事業	22 万円	浦川原区内における交流と区外からの誘客を進め、雪と親しみながら地域活力の向上を図るため、「うらがわら雪あかりフェスタ」を開催する。 【地域独自の予算事業】 ・ うらがわら雪あかりフェスタ開催事業補助金
浦川原区農村地区多目的集会所管理運営費	96 万円	浦川原区農村地区多目的集会所（浦川原里山地域活性化センター）の管理運営を行う。 ・ 適切な維持管理と利用促進を図る。
中山間地域等活性化対策事業（交付金）	2,277 万円	中山間地域等直接支払交付金を活用し、地域が連携して農地保全と担い手育成を推進することにより、中山間地域農業の振興を図る。 ・ 第5期対策の取組面積に対する交付金
浦川原区既設林道維持管理事業	1,263 万円	林道の適正な管理と機能維持により、利用者の安全確保と災害の発生防止を図る。 【新規】 ・ 飯室横川線（林道始点付近）用地測量業務委託 A=747 m ² （飯室地内） ・ 顕聖寺釜淵線法面保護工測量業務委託 L=50m（釜淵地内） ・ 顕聖寺釜淵線法面保護工設計業務委託 L=50m（釜淵地内）※施工場所は測量業務委託と同じ
農業振興公社運営費補助金	135 万円	公益財団法人浦川原農業振興公社の運営に対する補助を行う。 ・ 農業振興公社運営費補助金
浦川原区農村公園管理運営費	87 万円	浦川原区農村公園3か所（山本公園、菱田大池公園、虫川城址公園）の維持管理費。 ・ 公園管理報償費 山本地区観光施設管理組合、菱田町内会、虫川町内会
浦川原区農業用施設等維持管理費	31 万円	農道、農業用施設の管理システムの維持管理費。

事業項目	予算額	内 容
中山間地域農業農村総合整備事業（東頸北部地区）	1,690万円	<p>農業用施設の新設・改修を行い、効率的かつ安定的な中山間地域農業を実現するため、県営中山間地域農業農村総合整備事業に対する負担金（市・地元）。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大浦安9地区（浦川原区4地区：虫川地区、中猪子田地区、菱田地区、東俣地区） <p>※R4年度3月補正予算で1,105万円、R5年度当初予算で585万円</p>
ため池整備事業（地震・豪雨対策型）	836万円	<p>地域の重要な農業用施設であるため池の整備を行い、安定した水源供給の確保や洪水防止を図るため、県営事業に対する市負担金。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・山本地区（浦川原区） 県営事業負担金 堤体工一式（H30～R6） <p>※R4年度3月補正予算で308万円、R5年度当初予算で528万円</p>
鳥獣害対策	-	<p>上越市鳥獣被害防止対策協議会予算</p> <ol style="list-style-type: none"> ①電気柵設置（継続） <ul style="list-style-type: none"> ・【新設】5か所 L=3,157m（中猪子田、有島、熊沢、横住、法定寺） ・【予防】1か所 L=889m（法定寺）…農業振興公社 ・【更新】1か所 L=2,275m（上岡） ②鳥獣被害対策実施隊（継続） <p>箱わな設置上越市全体で新規に10基設置予定（※新規設置地区は今後募集）</p> <p>※大浦安管内でR4から継続実施している地区：浦川原区長走、上柿野、安塚区細野の3か所</p> ③有害鳥獣捕獲活動支援事業（継続） <p>捕獲したイノシシに対し、成獣1頭当たり15,000円、幼獣1頭当たり6,000円を支援</p> <p>※ニホンジカは、成獣1頭当たり12,000円、幼獣1頭当たり5,000円</p> ④新規猟銃取得支援（新規） <p>49歳以下、かつ、鳥獣被害対策実施隊に入る人で、初めて猟銃を取得する場合、猟銃購入費の一部を支援</p> <p>銃購入費の1/2以内（補助上限額：1丁当たり100,000円）</p> ⑤第1種銃猟免許、猟銃の所持許可取得支援（継続） <p>第1種銃猟免許及び猟銃の所持許可を新たに取得し、かつ、猟友会に所属し、市の有害鳥獣捕獲に協力する人を支援（54,000円上限）</p> ⑥わな猟、網猟、第2種銃猟免許の取得支援（継続） <p>狩猟免許（わな猟、網猟、第2種銃猟免許）を新たに取得する人を支援（10,000円上限）</p> ⑦集落環境診断（継続） <p>集落の地形状況や環境を確認し、イノシシが出没しにくい環境整備を住民に指導、助言する。また、住民が実施する環境整備に対し、市・JA・農済等の関係機関が相互に連携して協力する。</p> <p>※R5実施地区は今後募集</p> ⑧農作物被害調査（継続） <p>全市の農家組合を対象に農作物被害調査を実施</p>

事業項目	予算額	内 容
鳥獣害対策 (イノシシよけ網の設置)	-	住宅地周辺におけるクマやイノシシなど大型野生鳥獣の目撃件数が増加傾向にあることから、人身被害防止に向け、出没を抑制するための緩衝帯の整備等を行い人身被害を防止する。 【継続】 ・猪ふまず（旧末広小学校付近）設置 L=120m 監視カメラを設置し、鳥獣出没状況や猪ふまずの効果について検証を継続する。
団体営調査設計事業	-	浦川原区内を東西に縦断する大養幹線用水路沿線地域の越水被害を解消するため、国の農村地域防災減災事業の申請手続を行う。（R5 予算計上なし） 【事業スケジュール】 ・R4 調査計画業務（事業主体：市） ・R5 事業申請手続（事業主体：市） ・R6 測量・実施設計（事業主体：県） ・R7 工事着手（工期：R7～R10 予定）（事業主体：県） ※国の補助採択を受けた場合の最短の予定。
浦川原工業団地維持管理費	98 万円	浦川原工業団地の適切な維持管理（緑地帯の除草、土砂分離槽の土砂撤去）を行う。
浦川原区道路維持費	4,120 万円	一般交通に支障を及ぼさないよう市道を維持管理する。 ・現業非常勤一般職員の採用 2 人（安塚区、浦川原区、大島区の道路維持作業等） ・道路施設維持管理業務委託 浦川原区全域 L=78.2km ・街路樹管理委託（真光寺地内、虫川地内） ・道路草刈業務委託 機械除 15 路線 L=22,800m 新規路線：中島広見線（横住地内 L=3,000m） 人力除草 5 路線 L= 3,130m 新規路線：川北線（横川地内 L=40m） ・測量設計委託（災害防止対策工事関連） 川南線（有島地内） 法面復旧工 L=20m ・市内一円道路修繕工事（破損箇所等の補修） ・道路維持補修用資材（生コンクリート支給） 小谷島上猪子田線（小谷島地内） ・道路舗装修繕工事 花立線（上柿野地内他）オーバーレイ工 A=1,890 m ² ・外側線修繕工事 川南線（山本地内） L=1,080m
浦川原区河川管理費	949 万円	地元住民に憩いの場を提供し、健康の増進と向上に資するため、河川公園等を維持管理する。 ・河川等維持管理委託：沢口ふるさと公園、桜つつみ公園、谷ふれあい公園 ・測量設計委託（災害防止対策工事関連）釜淵地内 ブロック積工 L=30m ・災害防止対策工事 釜淵地内 ブロック積工 L=30m
除雪費	1 億 3,825 万円	冬期間の市民の安全・安心及び民生の安定と産業基盤の強化を図るため、市道の除雪を行う。 ・市道除排雪委託：車道 L=73.29km 歩道 L=1.23km

事業項目	予算額	内 容
うらがわら保育園通園バス運営事業	871 万円	保育園児の通園のための専用車両を運行することにより、登園・降園時における園児の安全を確保し、保護者の負担軽減を図る。 ・ NPO 法人夢あふれるまち浦川原へ運行業務を委託 【新規】 ・ 通園バス 1 台更新
浦川原保健センター管理運営費	424 万円	市民の健康づくりを支援するための拠点施設として管理運営し、各種事業の実施や利用者の交流の場として活用する。 【新規】 ・ 駐車場舗装工事 A=35.0 m ²
生活支援ハウス運営費	1,563 万円	介護支援サービス、居住サービス及び交流の機会を総合的に提供し、高齢者が安心して健康的な生活を送れるよう支援するため、生活支援ハウスを設置・運営する。 ・ 指定管理委託料、光熱水費等 【新規】 ・ エアコン入替修繕 2 台、電気調理器入替修繕 2 台
地域支え合い事業	400 万円	高齢者の介護予防、地域における自立した生活、心身の健康保持を図るために必要な支援を行うことにより、地域における介護予防の重要性を啓発するとともに高齢者の支え合い体制を構築する。 ・ NPO 法人夢あふれるまち浦川原へ業務委託 ・ 委託内容：協議体会議、サロン運営、サロン等送迎車運転業務、介護予防教室等
浦川原区スクールバス等運行事業	307 万円	遠距離通学等児童生徒の安全な通学を確保するため、スクールバスを運行する。 ・ 定期運行（東俣、上岡、杉坪、今熊、山本、桜島、岩室、長走） ・ 臨時運行（小・中学校の校外学習、他区の校外学習等）
浦川原地区公民館事業	46 万円	市民が健康で生きがいのある生活をおくれるよう、生涯学習の場を提供する。 ・ 趣味・教養講座（趣味の時間、めぐって知ろう！上越の魅力） ・ 体育・レクリエーション講座（の～んびりノルディックウォーキング教室） ・ 青少年教育活動事業（大浦安子どもふれあい教室） ・ 家庭教育支援講座（パパ・ママと一緒にあそぼ♪リズム教室） ・ 親子活動講座（子どもと一緒に楽しむ！親子ヨガ） ・ 夏休み子どもつどいのひろば ・ 地域・現代課題講座（さわやか女性学級） ・ ふるさと未来づくり事業（第 8 回手作りの小さな文化祭） ・ 公民館だよりの発行
浦川原地区公民館の管理運営	952 万円	社会教育の推進、生涯学習の拠点として、市民が利用しやすいよう施設の維持管理を行う。 【新規】 ・ 1 階男子トイレ小便器修繕、エレベーターバッテリー等交換修繕、エアコン更新修繕（講堂）、オイルタンク収納庫取替修繕

事業項目	予算額	内 容
浦川原区体育施設管理運営費	1,133 万円	利用者が安心してスポーツを楽しめるよう、施設の維持管理を行うとともに、適切に管理運営を行い、施設の利用促進を図る。 (浦川原体育館) ・浦川原区体育施設管理業務委託 (NPO 法人うらがわらスポーツクラブ) 【新規】 ・浦川原体育館消火栓ホース購入 20 本、消火器 10 本
体育施設整備事業	224 万円	スポーツ施設を安全で快適に利用できるよう環境整備を行う。 【新規】 ・浦川原体育館：2 階男子トイレ洋式便器取付工事、トイレ自動水栓設置工事、トイレ照明自動センサー化工事
学校体育施設開放事業	303 万円	子どもたちの夏休み期間における運動不足の解消や体力増進、水に親しむ場の提供のため、老朽化が顕著な浦川原プールの機能を浦川原小学校のプールに移すとともに、学校体育施設の有効活用を図る。 ・監視業務委託、ユニットハウス借上げ、自動体外式除細動器借上げ、薬品等消耗品購入
一般スポーツ活動推進事業	32 万円	青少年の健全育成及び市民の健康増進につなげる場とするため、誰もが参加できる「うらスポマラソン大会」を開催する。 【地域独自の予算事業】 ・うらスポマラソン大会開催事業補助金
安塚中学校、浦川原中学校、大島中学校統合事業	6,104 万円	令和 6 年 4 月に開校する「東頸中学校」への円滑な移行を図るため、必要な改修工事や整備を行い、生徒にとって望ましい学習環境を確保する。 【新規】 ・トイレ改修、体育館床面改修、体育用具室雨漏り修繕、3 階コンピューター室及び 2 階集会室・校長室間仕切り等設置、階段転落防止ネット設置、駐車場舗装、玄関前タイル補修、体育館一文字幕・両袖幕取外し・新設、校章等設置、用務員室エアコン設置、給食室下処理室シンク入替・エアコン設置他

令和 4 年度活動実績・振り返りと令和 5 年度の活動計画の検討について

1 自主的審議

令和 4 年度実績	令和 5 年度計画
<p>A グループ</p> <p>○地域団体の意見交換について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・うらがわらスポーツクラブ、浦川原商工会、町内会長連絡協議会の 3 団体を集めて意見交換を実施する予定としていたが、それぞれの団体から「区の課題」について意見聴取を行うこととし、実施した。 ・集約した意見の多くは、地域協議会として課題解決に向けて実行に移すことが難しいことから、地域団体との意見交換は必要に応じて実施することとした。 <p>○文化の伝承について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・少子・高齢化に伴って途絶えつつある多くの伝統文化のうち、当区にとって代表的な「月影雅楽、飯室神楽、保倉川太鼓」を優先的に守るべき文化と捉え、保存・継承を手助けする事業について、令和 6 年度の予算編成に向けて検討していくこととした。 ・2 月末現在で、各団体に事業イメージを伝える中で、事業計画案の見直しの必要性を感じ、まずは 3 団体そろっての発表の機会を設けたり、子どもたちへのアプローチとして体験会を開催したり、PR 用の動画をつくることを念頭に、団体との意見交換を継続している。 ・3 月 14 日 第 9 回グループワーク開催 	
<p>B グループ</p> <p>○中山間地域における公共交通の在り方について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4 月 26 日 勉強会を開催し、市交通政策課から、区内の公共交通の現状と市の施策（予約型乗合バスの状況や住民の「互助による輸送」等に対する補助制度）について説明を受けた。 	

<ul style="list-style-type: none"> ・7月11日・25日、8月10日 「ほくほく線の利活用」と「住民主導型の区内の送迎事業」を議題に協議し、区内アンケートによりニーズを把握した上で、令和5年度予算に反映することを確認した。 ・8月25日 区内全戸にアンケートを実施し、32人から回答を得た。 ・9月28日 アンケート結果を基に令和5年度の予算化に向けて検討し、翌29日の第6回地域協議会に予算化を諮ったが、安塚区と牧区で予約型コミュニティバスの実証運行が行われており、令和6年度から浦川原区で運行できる可能性もあることから、令和5年度の予算化は見送ることとなった。 ・12月21日 「ほくほく線の利用促進及び利便性向上について」、Bグループ5人の連名で提案書を提出し、第9回地域協議会で自主的審議事項とすることを決定した。 ・1月27日 第10回地域協議会で意見書の内容について協議し、意見書として提出することを決定。2月2日付けで意見書を市に提出した。 ・2月22日 第11回地域協議会において、意見書に対する回答を市交通政策課から報告を受けた。 ・3月23日 第10回グループワーク開催予定 <p>○大浦安の学校の在り方について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校の在り方については継続協議とした。 	
--	--

2 「地域活性化の方向性」の作成

令和4年度実績	令和5年度計画
<p>○11月29日 第8回地域協議会で、現在進めている自主的審議事項の検討内容から事務局が作成例として提示した案を基に作成することを確認した。今後、自主的審議事項の検討と合わせて内容を精査していく。</p>	<p>(8月を目途に作成)</p>

3 出張地域協議会

地域協議会の活動を理解していただくとともに、地域住民の意見を収集するため、出張地域協議会を開催し、会議後に地域住民との意見交換を実施する。

令和4年度実績	令和5年度計画
<p>○10月20日（木）中保倉地区（中猪子田集会所）</p> <p>○参加者 地域住民5人</p> <p>○意見交換の内容</p> <p>地域活動支援事業を活用してきた団体から、支援に対するお礼と現在の活動状況の報告があったほか、コロナ禍で町内会行事が中止になる中で、地域の寄り合いの機会を工夫して設けている様子を知ることができた。</p>	

4 中学生との意見交換会

次代を担う浦川原中学校生徒が浦川原区の地域資源を学び、地域に対する愛着や地域を大切に思う心を育むとともに、地域資源の活用や後世への継承に向けて、地域協議会委員との意見交換を踏まえ、中学生自らができることを地域協議会へ提案する。

また、地域協議会委員は、中学生の生の声や考えを聴き認識を深めるとともに、中学生からの提案を受け、その実現に向けて支援するとともに、地域課題を解決するための方策を探る一助とする。

令和4年度実績	令和5年度計画
<p>○1年生（13人）を対象とし、「ふるさと浦川原の伝統文化」をテーマに、「月影雅楽、飯室神楽、保倉川太鼓」について学習した。</p> <p>○実行委員</p> <p>村松副会長、池田副会長、春日委員、北澤正彦委員、宮川委員</p> <p>○主な実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・11月8日 現地学習・体験学習 ・12月20日 中学生によるまとめの発表と地域協議会委員との意見交換 ・3月9日 中学生による学習先の3団体に向けた提案発表 	

5 研修会の開催

委員の資質向上を図るとともに、更なる見識を深めることを目的とする。

浦川原区地域協議会委員のみによる研修会だけでなく、共通認識を共有することで、効果的なまちづくりが進められるよう町内会長連絡協議会や諸団体、他区の地域協議会との合同開催や先進地視察も可能。

また、大島・浦川原・安塚区地域協議会合同の研修会を3区持ち回りで開催しており、令和5年度は当区の担当。

令和4年度実績	令和5年度計画
○浦川原区地域協議会委員研修会 11月8日（火） ・テーマ：地域自治推進プロジェクトについて ・講師：自治・地域振興課 職員 ・参加者：10人	
○大浦安合同研修会 2月17日（金） ・テーマ：中山間地域のまちづくりに関して地域協議会に期待すること ・講師：小田基史 副市長 ・会場：安塚コミュニティプラザ ・参加委員：21人（うち浦川原区7人）	○大浦安合同研修会 浦川原区担当

6 地域協議会だよりの発行

浦川原区地域協議会の活動内容について、地域住民への報告と周知のため、地域協議会の活動内容を掲載した広報紙である地域協議会だよりを発行する。

令和4年度実績	令和5年度計画
○7月25日（第53号） 1班担当：藤田会長、春日委員、北澤正彦委員、五井野委員 ○2月25日（第54号） 2班担当：池田副会長、小野委員、北澤誠委員、宮川委員 ○3月25日（第55号） 3班担当：村松副会長、相澤委員、赤川委員、杉田委員	

7 地域活動支援事業の審査等

令和4年度実績	令和5年度計画
<p>○5月21日(土) 提案事業審査</p> <ul style="list-style-type: none">・審査結果 採択6事業、不採択なし補助額 4,545千円 <p>※追加募集なし</p> <p>○10月20日 事業の進捗状況報告(事務局)</p> <p>○3月25日(土) 成果報告会</p>	

浦川原区 地域協議会だより

発行日：令和5年3月25日

通算：第55号

発行：浦川原区地域協議会

編集：地域協議会編集委員会

地域協議会事務局

(総務・地域振興グループ内)

ほくほく線の利用促進及び利便性向上について

市に意見書を提出しました

自主的審議事項として検討を進めてきました「ほくほく線の利用促進及び利便性向上について」、2月2日付けで上越市長に意見書を提出しました。その後、2月22日に開催した第11回地域協議会において、市交通政策課から意見書に対する回答の説明を受けました。

今後、地域協議会において、北越急行(株)のネットショップを活用した特産品等の販売のほか、駅前広場でのマルシェや駅舎でのカフェを地域運営で実施する場合、具体的にどのような形で取り組むことができるのか、話し合いを進めていきたいと考えています。



(当区地域協議会が提出した意見書と市からの回答は、次のとおりです。)

1 令和6年春の敦賀延伸を見据え、北陸新幹線の停車駅である上越妙高駅へのほくほく線の乗り入れを復活するとともに、本数を多くすること。

直江津駅での乗り換えを少なくすることにより、関西方面への移動の利便性向上を図る。なお、直江津駅で乗り換える場合は、高齢者・障がい者等に配慮し、同一ホームでの乗り換えとすること。

【回答】

上越妙高駅への乗り入れや直江津駅での乗り換えについては、鉄道各社が利用状況や保有する車両数、車両の折り返し、他社の鉄道との接続など、様々な要素を勘案し、調整しております。このたびの利便性向上に関するご意見につきましては、取組の参考としていただけるよう北越急行株式会社にお伝えいたします。

2 JR黒井駅にほくほく線列車の停車本数を多くすること。

直江津地区工場群の通勤者(交代勤務者も含む)に「ほくほく線」の利用促進を図る(パーク&ライドによるSDGsの実現)。

【回答】

JR黒井駅への停車本数については、意見1に対する回答と同様に、北越急行株式会社が様々な要素を勘案し、調整しております。このたびの利便性向上に関するご意見や、利用促進に関するご提案につきましては、取組の参考としていただけるよう同社にお伝えいたします。

3 当地域の農産物生産者や民間事業者が北越急行(株)のネットショップ網を活用して地域の特産品等を販売し、利益の一部を北越急行(株)に還元するとともに地域の活性化につなげる。

【回答】

北越急行株式会社のネットショップにおいては、ほくほく線の利用促進やマイレール意識の醸成につながるグッズを販売しており、収入確保の一つの方策として実施しているものと認識しております。市といたしましては、地域からの提案を同社へ取り次ぐなど可能な支援を行ってまいりますので、具体的な実施内容案を作成いただき、浦川原区総合事務所へご相談ください。

4 北越急行(株)が製造する新車両には、必ず車内トイレを設置すること。

【回答】

ほくほく線車両内のトイレ設置につきましては、平成29年度の貴会からの意見書に対する回答のとおり、北越急行株式会社に対し、新車両導入時にはトイレ付車両を導入するよう提案してきたところであります。同社からは、新車両導入時にトイレを設置する方向で検討を進めていると聞いております。引き続き、市民の要望として、このたびのご意見を同社にお伝えいたします。

5 虫川大杉駅・うらがわら駅両駅舎を活用し、地域の方々が企画・運営するイベントにより駅舎周辺の活性化と「ほくほく線」の利用促進を図るために必要な支援をすること。

例えば、駅舎前広場でのマルシェ(地元生産者やキッチンカーの出店)や駅舎でのカフェ(茶屋)などのイベントを地域運営で開催するための協力。

【回答】

ご意見にあるとおり、駅舎を活用することにより、鉄道や駅舎等への愛着・理解を高め、沿線住民のマイレール意識の向上や利用促進につながることを期待できると考えます。ご提案いただいたイベント内容によっては、市の支援メニューを活用できる場合もありますので、具体的な取組をご検討いただき、浦川原区総合事務所へご相談ください。

「浦川原いいところ探し」まとめ発表会

3月9日（木）、浦川原中学校1年生が「浦川原いいところ探し」まとめ発表会を開催しました。

発表会では、「ふるさと浦川原の伝統文化」をテーマに、「月影雅楽・飯室神楽・保倉川太鼓」の3団体について、昨年11月の現地学習及び体験活動と12月の地域協議会委員との意見交換会を踏まえ、中学生が学習先ごとに感想や課題等に対する提案をまとめたものを、団体の皆さんに発表しました。

中学生は自分たちの目線で、自分たちができることとして、「給食の時間に音楽を流す」「活動資金を集めるため、寄付や募金の呼び掛けを行う」「宣伝のためにポスターを作る」などの提案を行いました。団体の皆さんからは「自分たちでは考えつかないことで、おもしろい発想だった」「自分たちが活動を続けていくためには何が必要か、中学生がこんなに一生懸命考えてくれたことがありがたい」と感謝の言葉を述べられていました。



活動報告

日時	項目	主な内容
2/17	大浦安地域協議会委員研修会 (安塚コミュニティプラザ)	テーマ：中山間地域のまちづくりに関して地域協議会に期待すること 講師：上越市副市長 小田副市長 様
2/22	第11回浦川原区地域協議会 (浦川原コミュニティプラザ)	<ul style="list-style-type: none">・浦川原区地域協議会からの意見書に対する回答について【市からの報告】・浦川原霧ヶ岳温泉ゆあみの廃止について【市からの報告】・3区中学校統合の進捗状況について【市からの報告】・地域独自の予算の事業一覧について【市からの報告】・中学生との意見交換会（中学生による団体への提案）について【委員報告】・自主的審議事項の検討について【協議】

※上記のほか、自主的審議事項検討のためのグループごとの話し合いなどの活動に取り組んでいます。

■編集後記

田んぼの雪も消え、本格的な春がすぐそこまできている今日この頃です。

私たちは現在、2つのグループに分かれて、これからの浦川原について様々な課題を取り上げ、「自主的審議事項」として議論を行っています。Aグループは「文化の伝承」というテーマで、「月影雅楽」「飯室神楽」「保倉川太鼓」の3つを残すにはどうしたらよいかを話し合っています。Bグループは「中山間地域における公共交通の在り方」をテーマに、ほくほく線をマイルールとして地域で支え、存続するための方策を考えています。

地域協議会の立場で、今後の浦川原を良くしていくために、お手伝いできることはないかと審議を重ねる日々です。すぐ解決できる問題は少ないですが、一步一步前進できるよう頑張りたいと思います。

編集委員：村松進・相澤誠一・赤川義男・杉田和久